

ティーチング・ポートフォリオ兼教員プロフィール

	保育科 講師 深 沢 佐 恵 香 （ふかさわ さえか） FUKASAWA Saeka
所属	保 育 科
学位	修士（児童学）（日本女子大学）
資格・免許	保育士資格（東京都－109322） 幼稚園教諭専修免許状（東京都教育委員会：平 29 幼専第 11 号） 小学校教諭専修免許状（東京都教育委員会：平 29 小専第 37 号）
学歴・職歴	<学歴> 2016 年 3 月 日本女子大学家政学部児童学科 卒業 （学士（児童学）） 2018 年 3 月 日本女子大学家政学研究科児童学専攻 修士課程 修了 （修士（児童学）） <職歴> 2016 年 4 月 日本女子大学家政学部児童学科 ティーチングアシスタント （担当科目：「フィールドワーク演習」）（2016 年 7 月まで） 2016 年 9 月 日本女子大学家政学部児童学科 ティーチングアシスタント （担当科目：「教職実践演習」）（2018 年 3 月まで） 2018 年 4 月 なかの幼稚園（学校法人中村学園：東京都八王子市） 教諭 （2020 年 7 月まで） 2020 年 7 月 日本女子大学家政学部児童学科 学術研究員 （2021 年 3 月まで） 2020 年 8 月 甲府市教育委員会 甲府市立小学校学習指導員 （2021 年 3 月まで） 2021 年 4 月 山梨学院短期大学保育科 特任講師（2024 年 3 月まで） 2024 年 4 月 山梨学院短期大学保育科 専任講師（現在に至る）
担当科目	2025 年度：担当科目なし 2024 年度：保育課程論 保育内容（人間関係） 子どもと人間関係 子育て支援の理論と方法 子育て支援演習 幼稚園教育実習指導（1 年） 幼稚園教育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ 基礎演習 卒業演習Ⅰ・Ⅱ 保育内容特論（人間関係） 保育課程特論 子どもと人間関係特論 家庭問題特論Ⅱ
専門分野	保育学
現在の研究テーマ	幼児の主体的な遊びと保育者の援助
競争的資金等の 研究課題	－
所属学会	日本保育学会 日本保育者養成教育学会 乳幼児教育学会
メッセージ	乳幼児教育は、人間形成の基礎を培う重要な教育です。それを学ぶ皆さん には、ぜひ短大で学んだことを社会で生かして欲しいと思います。少 しでもそのお手伝いをできれば幸いです。

教育		
2024 年 4 月～2025 年 3 月		
教育方針		保育実践を「みる」力の育成
授業	授業の工夫	2023 度より専攻科 1 年生対象の「保育課程特論」の授業内容を見直し、保育の記録と観察を中心とした授業に変更した。本年度は保育科 1 年生対象の「保育課程論」について、実習時期の変更を踏まえて保育記録に関する授業の一部見直しを行った。 <保育課程論> 昨年度までは保育実践の DVD 映像を見た上で保育記録を作成する方法をとっていた。今年度より幼稚園教育実習Ⅰの実習期間が変更になったことで実習を終えた直後に保育記録作成を行うことが可能になったため、学生自身の幼稚園実習記録を活用した記録の作成と記録の捉え直しを行う方法に変更した。保育記録の中から印象に残った遊び・生活等の場面について具体的な子どもの姿や自身の声かけ、そこから得た学びなどをエピソード記録として書き起こした上で、子ども育ちを「10 の姿」や「3 つの柱」から整理するワークシートを作成することで、保育実践を多面的に捉える力の育成を図った。映像から作成する保育記録と比較し、細やかなやりとりや自身の考えや学びがより具体的に記述されていたと考える。記録を書くだけでなく、様々な視点から捉え直すことで理論と実践のつながりをより強化できたと考える。学生からの授業評価も高評価だったことから今後も継続して行っていきたい。
	授業改善のための取組	授業後のレスポンスシートを丁寧に確認し、要望等あった場合は随時対応している。また授業冒頭でレスポンスシートの感想・質問を紹介し、授業内容に反映させる等、学生と教員の双方向型のコミュニケーションが図れるよう取り組んだ。また、前年度の授業評価アンケートや定期試験・レポートの成績状況を整理し、理解度や満足度の低い点については随時見直しを行っている。今年度は実習が重なった授業に関する理解度の低下が見られたことから、実習後のフォローを丁寧に行っていきたい。

教育（つづき）		
2024 年 4 月～2025 年 3 月（つづき）		
ゼミ	ゼミ活動 (卒業演習) (修了研究)	<卒業演習> 卒業レポートについては「10 の疑問」のワークシートを作成することで、学生一人一人が自身の興味関心の分野を自己認識できるようにした。また、「研究計画」ワークシートを作成し、研究テーマの目的や具体的な内容、研究方法等、学生自身で計画的に研究を進められるように指導した。研究方法ごとの勉強会を実施しテーマに合った研究方法を選択できるようにした。また、学生の研究テーマによっては実地調査への同行や支援を行った。個別の指導を中心に行うことで一人一人の状況に応じた支援に努め、定期的に全体中間報告会を行うことで学生同士のコミュニケーションも取れるようにした。ゼミ内発表会では、学生の司会進行のもと、ゼミ生全員が PowerPoint によるプレゼンテーションを行った。
	卒業レポート・ 修了研究テーマ	<2024 年度 卒業レポートテーマ> ・実習後の保育職に対するイメージと希望の就職先の変化 ・障がい者に対しての偏見や差別について ・インクルーシブ保育の実際－障害児を受け入れている保育現場の実際と関わり方－ ・愛着関係における母親・父親・保育士の関わり－それぞれが子どもに与える影響－ ・日本と海外の保育制度の違い ・出生前診断に対する大学生の意識調査 ・赤ちゃんの誕生による上の子の行動変化 ・子どもの会話量は家族に影響されているのか ・保育士はなぜ給料が少ないのか－インタビュー調査および他国との比較－ ・幼児に対する絵本や紙芝居の読み聞かせの意味－保育者へのアンケート調査を通して－ ・外国にルーツを持つ子どもの教育－教育施設における子どもとその保護者に対する支援－
課外活動	—	
主な教育業績	2024 年度：ウィンドブラスアンサンブル顧問	

研究		
2024 年 4 月～2025 年 3 月		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（学術論文） ふり遊び・見立て遊びの変容過程と保育者の援助ー1歳児クラスの素材遊びに着目してー （共著）	2025 年 3 月	日本女子大学大学院紀要 第 31 号
（その他：ポスター発表） 保育者の大学院進学プロセス （共同）	2025 年 3 月	日本保育者養成教育学会 第 9 回研究大会
（その他：口頭発表） 1歳児クラスのふり遊び・見立て遊びー素材遊びの可能性を探るー （共同）	2024 年 11 月	日本乳幼児教育学会 第 34 回大会
（その他：ポスター発表） 私立幼稚園における教育方針・理念、教育方法に関する調査ー山梨県内私立幼稚園 Web サイト・SNS の分析からー （単独）	2024 年 5 月	日本保育学会 第 76 回大会
2024 年 3 月以前（主なもの）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（著 書） めばえ幼稚園の保育実践ー幼児たちの自ら共に生き抜く力を育む場としてー （共著）	2023 年 5 月	ななみ書房
（学術論文） ごっこ遊びの萌芽期を支える保育者の援助ー2・3歳児クラスの保育実践事例からー （共著）	2024 年 3 月	日本女子大学大学院紀要 第 30 号
（学術論文） ごっこ遊びの深まりを支える保育者の援助Ⅱーごっこ遊び事例を 5 つの視点から考えるー （共著・筆頭）	2024 年 3 月	日本女子大学大学院紀要 第 30 号

研究（つづき）		
2024 年 3 月以前（主なもの）（つづき）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（学術論文） 幼稚園・保育所・認定こども園に対して学生 が持つイメージ －保育科 1 年生を対象としたアンケート調 査を通して－ （単著）	2023 年 3 月	山梨学院短期大学研究紀要 第 43 巻
（学術論文） ごっこ遊びの深まりを支える保育者の援助 － 2・3 歳児クラスの事例から－ （共著・筆頭）	2023 年 3 月	日本女子大学大学院紀要 第 29 号
（学術論文） 「ごっこ遊び」研究の傾向 －保育実践を対象とした調査に着目して－ （共著）	2022 年 3 月	日本女子大学紀要 第 69 号
（学術論文） 自然との関わりに見る「幼児期にふさわし い生活」－自然を生かした保育を実践する 保育者の語りを通して－ （共著）	2021 年 3 月	日本女子大学大学院紀要 第 27 号
（学術論文） 三法令改訂を保育者はどのように受け止め たか－管理職への聞き取りから－ （共著）	2020 年 3 月	日本女子大学家政学部紀要 第 67 号
（学術論文） 幼稚園教育要領改訂にともなう幼稚園の変 化－研究動向と今後の課題－ （共著）	2019 年 3 月	日本女子大学家政学部紀要 第 66 号
（学術論文） 幼稚園教育要領改訂とこれからの幼児教育 （単著）	2018 年 3 月	日本女子大学院紀要 第 24 号
（学術論文） 遊びを支える保育者の援助とは何か－幼稚 園年長児における総合的な造形活動を通し て－（修士論文） （単著）	2018 年 3 月	日本女子大学家政学研究科児童学専 攻

研究（つづき）		
2024 年 3 月以前（主なもの）（つづき）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（学術論文） 幼児に“まかせる”保育とは？－幼稚園年長 児のフィールド観察を通して－ （単著）	2017 年	子どもロジック VOL. 21
（その他：研究発表） 私立幼稚園における教育方針・理念、教育方 法に関する調査 －山梨県内私立幼稚園 Web サイト・SNS の 分析から－ （単独）	2023 年 5 月	日本保育学会 第 76 回大会
（その他：研究発表） 幼稚園年長児の造形遊びに対する保育者の 援助（2） （単独）	2018 年 5 月	第 71 回 日本保育学会
（その他：研究発表） 幼稚園年長児の造形遊びに対する保育者の 援助（1）－総合的な活動としての「インデ ィアン祭り」の事例を通して－ （単独）	2017 年 5 月	第 70 回 日本保育学会

社会貢献
産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等
2024 年 4 月～2025 年 3 月
・ 山梨学院短期大学免許法認定講習 講師 「子どもと人間関係特論」(2024 年度) ・ 南アルプス市公立保育所あり方検討委員会 委員 (2024 年度)
2024 年 3 月以前 (主なもの)
・ 山梨県立日川高等学校 連携事業 講師 (2023 年度) ・ 中学生向けオープンキャンパス体験講座 講師 (2023 年度) ・ FM 甲府の子育て支援番組 出演 (2023 年度) ・ 山梨県立塩山高等学校 連携事業 講師 (2023 年度) ・ 山梨学院短期大学免許法認定講習 保育内容特論 (人間関係) 講師 (2022 年度) ・ やまなし保育士・保育所支援センター(山梨県社会福祉協議会内)「令和 4 年度『保育のお仕事』就職・復職応援 Web セミナー」 講師 (2022 年度) ・ 保育活動におけるリスク・コミュニケーション研修 講師 (2022 年度) ・ 山梨県立塩山高等学校 連携事業 講師 (2022 年度) ・ 山梨英和高等学校 連携事業 講師 (2021 年度) ・ 日本保育者養成教育学会第 6 回研究大会 実行委員 (2021 年度)
受賞 ※個人、所属団体
—